

令和6年度 函館市医療・介護連携多職種研修会～医療関係者向け～ アンケート集計結果

n=59 (回収率 85.5 %)

当日参加人数 69名

1. 所属機関をお聞かせください。

・函館市	54	(91.5%)
・北斗市	1	(1.7%)
・七飯町	4	(6.8%)
計	59	(100.0%)

2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	39	(66.1%)
・介護機関	19	(32.2%)
・その他	1	(1.7%)
計	59	(100.0%)

3. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	1	(1.7%)
・薬剤師	6	(10.2%)
・保健師	0	(0.0%)
・看護師	21	(35.6%)
・ケアマネジャー	10	(16.9%)
・相談員	5	(8.5%)
・介護職員	9	(15.3%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	0	(0.0%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	5	(8.5%)
・その他	2	(3.4%)
計	59	(100.0%)

4. 今回のテーマはいかがでしたか？

・よかった	55	(93.2%)
・どちらともいえない	4	(6.8%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	0	(0.0%)
計	59	(100%)

【ご意見等】

【医療機関】

<歯科医師>

- ・ 特養とサ高住の形態について詳しく理解できた。

<薬剤師>

- ・ 施設での生活状況や介護などわからないことがありましたが、イメージをもつことができました。
- ・ 今回、食事形態が見られてよかったです。刻み、ミキサー食など写真で見ることができてイメージができました。
- ・ 施設側が病院へ求めている情報について整理することができた。
- ・ 特養とサ高住の違いを理解できました。

<看護師>

- ・ 施設での様子、生活状況について知ることができましたが、高齢者なので、入退院を繰り返す、ADLが低下する、施設内で話し合ったり家族と方向性など話しているのか知りたかったです。
- ・ 特養での食事や取り組み等を知ることが出来て良かった。サ高住からの入院が多いので、入居者の生活を知ることが出来て良かった。
- ・ 多職種連携のために、お互いの施設の役割、利用目的、生活支援の内容が知れて理解が深まりました。
- ・ 患者が退院するとき、施設の人が必要とする情報を書きたいと思いました。
- ・ 退院後の患者の生活がわかった。
- ・ 特養、サ高住の実際の内容を知ることができました。
- ・ 施設紹介という感じで退院後の生活はよく分からなかった。

<相談員>

- ・ 実際過ごしている方々の写真から生活ぶりをみれて分かりやすかったです。入所している方のご家族がどのように思われているのかもっと知りたかったです。
- ・ 病院側が施設に情報提供する内容がどんなものがよいのかイメージがつかしました。

<事務員>

- ・ 精神病患者さんの施設の中の事についてお話を聞いてみたいです。

【介護事業所】

<ケアマネジャー>

- ・ 1時間という限られた時間で、基本的な事をわかりやすく説明して下さったので勉強になりました。
- ・ いろいろ施設の内容がわかりました。
- ・ 施設入居に向けて、必要な情報がわかった。
- ・ 時間も短く集中できて、とても良かったです。

<介護職員>

- ・ 介護施設からの必要な情報が細かく上げられているので良かった。医療の方の意見も聞けてよかった。
- ・ サ高住で経管栄養の人が生活できるとは思わなかった。看護サービスが充実している。
- ・ ディスカッションは良かったです。皆様抱えている問題等は同じで特に急変時の対応について聞いたことは良かった。
- ・ 作業の短縮を図るために様々な機械を導入していて参考になりました。
- ・ 施設ごとの対応の違いが聞けて良かったです。
- ・ 他施設について、概要と職員の方の雰囲気を知ることができ良かった。

5. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【医療機関】

<薬剤師>

- ・ 様々な職種が目線で他の職種の方のサポートできることやしてほしいことなど情報提供できればいいと思います。
- ・ 入退院を繰り返す方のそれぞれの施設側での住居確保などの対応はどうなるのかなど。
- ・ 発達障害、かかわりのある職種の方の実体験や成功例。
- ・ がん、緩和領域。

<看護師>

- ・ 同様のテーマで、連携不足・情報不足で困ったケースなど教えて頂けると今後の参考になります。
- ・ 施設での認知症患者に対する試み。
- ・ 介護保険についてお願いします。
- ・ 施設でのACP。

【介護事業所】

<ケアマネジャー>

- ・ 多職種の研修を行うことで新たな情報が得られますので今後も続けてほしいです。
- ・ 看取りについて。

<介護職員>

- ・ 今回の研修に参加させて頂いたことは初めてでした。今後も(今回以外)他職種の方のディスカッション等を聞いてみたいと思いました。
- ・ 導入している機器について詳しく知りたいです。
- ・ 認知症の対応について。

6. 講師への質問がございましたら、お書き下さい。

【医療機関】

<薬剤師>

- ・ 函館も高齢者が増え、施設に入所したくてもすぐに難しい場合が多い印象を受けます。もう少しスムーズに入所出来ると良いと思います。

<看護師>

- ・ 入院中の経過を電話で確認されても看護師から答えることはできない。また電話での問い合わせは特に返答できないと思います。

<臨床検査技師>

- ・ 自分の日常業務の中では、あまり関わらない分野のお話でしたので大変勉強になりました。

<相談員>

- ・ 質問に答えていただきありがとうございました。

【行政】

<保健師>

- ・ わかり易い講演ありがとうございました。